

総合型選抜入試の目的と特徴

経済学部の総合型選抜入試は、経済学部のアドミッション・ポリシー（11ページ参照）に真に適合する学生を受け入れるために行われる入試です。経済学部の授業を理解する上で重要な、国語、数学、地理歴史・公民分野を中心とする基礎学力、粘り強い論理的思考力、そして、経済・社会問題への関心や地域社会・国際社会に貢献する志を重視する試験です。同時に、主体的に学ぶ姿勢や将来のキャリアに対する意欲なども問われます。プレゼンテーション型、課題探究（課題レポート）型の2つから選択できます。

学科の教育目的と求める人物像

■教育目的

経済学部は、グローバル化や情報化などによって、ますます複雑化している実社会において、幅広い視野と鋭い分析・判断能力を持ったビジネスパーソンとして活躍できる人材を育成することを目的としています。

■求める人物像

経済学部が求める基礎学力や論理的思考力を高校時代に身につけている下記のような人物を求めます。

- 1 経済学と法律学を両方勉強して、公務員や実践力のあるビジネスパーソンになりたい人
- 2 フィールドワークで地域経済の現場を知ったうえで、その再生や発展に役立つビジネス、金融、政策のあり方を学びたい人
- 3 日本を飛び出して、海外でも活躍できるような、自立した、実力のあるビジネスパーソンになりたい人
- 4 経済学、統計学の知識を身につけて、ビジネス・経済データ分析ができるようになりたい人

エントリーについて

7月上旬から阪南大学入試サイトに公開される総合型選抜入試特設サイト内の「エントリーシート」をダウンロードし、エントリー課題および必要事項を記入の上、阪南大学入試広報課宛に郵送してください。提出された「エントリーシート」の内容を確認した後、8月上旬から願書を随時郵送します。入試対策として、オープンキャンパスに積極的に参加することをお勧めします。

選考方法および課題、選考における評価基準

■プレゼンテーション型

選考方法

- ①プレゼンテーションと質疑応答
 - ・プレゼンテーションを行う時間：7分以内（5分未満で終了した場合は減点対象）
 - ・発表方法：(1) プレゼンテーション用ソフトウェア (2) フリップボード (3) ポスター（どれか1つを選択）
 - ※資料を読み上げるのではなく、自分の言葉で説明できるよう準備してきてください。発表終了後に質疑応答を行います。
 - ※準備方法や注意事項について、阪南大学入試サイト「総合型選抜入試特設サイト」（経済学部ページ）を必ず確認してください。
- ②「学修計画書」に基づく個人面接
 - ・出願時に提出された「学修計画書」に関する質疑応答
 - ※試験時間は「プレゼンテーション」と「個人面接」をあわせて20分程度です。

プレゼンテーションテーマ

日本の地域（市区町村単位）から一つ（例えばあなたが暮らす市など）を選び、その地域について次のいずれかの「テーマ」に基づいて調べ、考察し、その結果を取りまとめてください。

■テーマ(a～eから一つ選択)

- a.「人口問題」 b.「観光振興」 c.「産業振興」 d.「環境問題」 e.「防災対応」

※各テーマのもとで具体的にどのような問題を取り上げたら良いかについては、阪南大学入試サイト「総合型選抜入試特設サイト」（経済学部ページ）を参照してください。

◎高等学校の探究学習（「総合的な探究の時間」）の授業でどこかの地域の課題について取り組んだことのある人は、その調査・考察の結果をベースとして使用してもかまいません。ただし、阪南大学入試サイト「総合型選抜入試特設サイト」（経済学部ページ）にある注意事項を必ず確認してください。

■プレゼンテーションでは、次の1)～4)の4点について、この順番で発表してください。

- 1) 選択した地域の簡単な紹介と特徴について
- 2) 選択した「テーマ」に関するその地域の現状について
- 3) 地域の現状から見えてくる課題について
- 4) 課題を解決していくために必要だと思うことについて

評価基準

項目	配点	備考
プレゼンテーションと質疑応答	90%	表現力、論理的思考力、主体的に学ぶ姿勢、経済・社会問題に対する姿勢、創造性など
「学修計画書」に基づく個人面接	10%	志望動機、学習意欲、積極性、計画性など

■課題探究（課題レポート）型

選考方法

- ①提出課題と口頭試問：出願時に課題（下記を参照してください）を提出してもらいます。試験当日、提出してもらった課題と類似の問題に解答してもらい、口頭試問を行います。
- ②「学修計画書」に基づく個人面接：試験当日、出願時に提出してもらった「学修計画書」に基づいて面接担当者が質疑応答を行います。※試験時間は20分程度です。

課題

出願書類に同封される問題に解答してください（以下の問題はその一部だけを示したものです）。答案の作成にあたっては、「公共」や「政治・経済」の教科書を参照して、需要曲線や供給曲線の読み方やこれらの移動（シフト）、および市場均衡（市場での需要と供給の一致）の意味などを良く調べて理解しておきましょう。また、問題に対する自分の解答方法を十分に整理し、それを他者に説明できるように、また数値が変更された同様の問題も解けるように、準備しておいてください。

【問題】完全競争市場において売買されている、ある商品の需要曲線と供給曲線を描くために、縦軸（y軸）に価格をとり、横軸（x軸）に数量をとる。

図1：商品の需要曲線

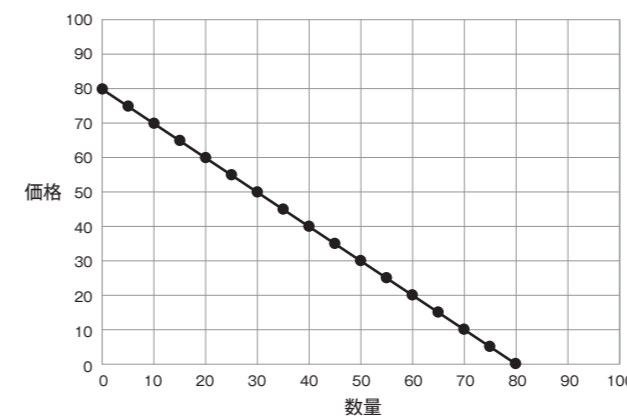
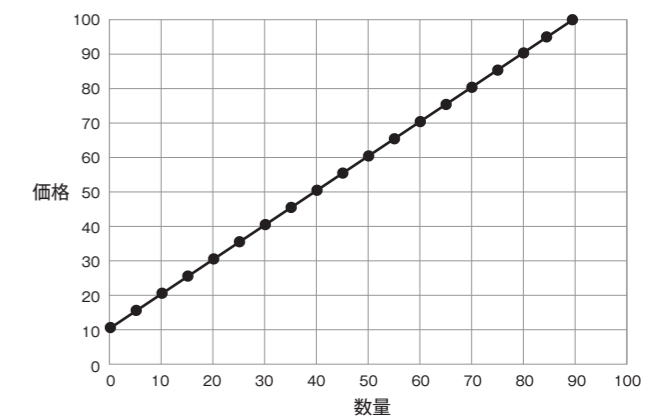


図2：商品の供給曲線



- 問1 需要曲線が、図1のような「右下がり」の形になる理由を説明しなさい。図1から読み取れる数値を説明に用いてもかまいません。
- 問3 図1をもとに、価格をy、需要量をxとして、この需要曲線を直線の式で表しなさい。
- 問5 図1をもとに、この商品の価格が60のときの、この商品の需要量の大きさを答えなさい。
- 問7 図1と図2をもとに、この商品の市場が均衡するとき（つまり、この商品の需要量と供給量とが一致するとき）、この商品の価格と取引量を答えなさい。
- ※上記の問題はその一部だけを示したものです。全ての問題（課題）は、本学から郵送される願書に同封されています。

評価基準

項目	配点	備考
提出課題と口頭試問	90%	論理的思考力、主体的に学ぶ姿勢、表現力など
「学修計画書」に基づく個人面接	10%	志望動機、学習意欲、積極性、計画性など